

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (沖縄)	-	-	-	-
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・前年同期に比べると、観光客などで来客数が増加している。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・観光客が増えている。
		通信会社（店長）	販売量の動き	・前年割れしていた販売量が徐々に回復傾向にあり、7月は前年を上回ることができた。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・客室稼働率は、3か月前と同様に前年同月実績を若干下回る見込みである。
		観光型ホテル（代表取締役）	来客数の動き	・宿泊数は、台風などでのキャンセルの影響で前年よりも少し落ちた。飲食に関しては、夏場はもともと厳しい。
		旅行代理店（マネージャー）	それ以外	・大雨、台風などが相次ぎキャンセルが多く、売上が伸び悩んでいる。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・はしかの影響で夏場の予約が伸びていない。夏の旅行シーズンの販売ピークが5月後半から6月末だったのだが、事前予約が弱い。
		その他サービス【レンタカー】（営業）	来客数の動き	・キャンペーンを打ち出しているが、予約数が前年並みの推移となっており、現状はそれほど変わっていない。
		住宅販売会社（代表取締役）	お客様の様子	・本土企業から沖縄県内でのアパートや戸建て住宅などの鉄骨建築工事に関する提携会社の打診や、同じく九州の会社から宿泊施設建築見積りの依頼など、これまでは余りなかった経路での建築情報が増えている。
		住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・住宅展示場への来場客数が前月比61%、前年同月比86%と減少している。
		百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・月初と月中の台風の接近による営業時間短縮の影響で鈍化した。お中元ギフトは今年の旧盆が前年に比べ10日程早いため、7月のウェイトが高くなっている。免税売上は台風の影響もなく、前年超えと順調だった。
	その他飲食【居酒屋】（経営者）	来客数の動き	・7月中旬より繁忙期に入ってくるが、今年は台風でかなりのキャンセルが出た。公務員のボーナスの後は、例年活性化するが、今年はイベントを多数打っていても反応が薄く、地元客は例年の10%ほど落ちている。	
	x	商店街（代表者）	競争相手の様子	・大型店は値下げもでき、その他の諸々の対応もできるが、商店街の零細企業では単独でのサービスも限度があり、大変な危機感を抱いている。本商店街は部分的には良いところもあるとみられるが、全体的には大変な危機的状況下にある。
企業動向 関連 (沖縄)		輸送業（経営企画室）	取引先の様子	・当社所有地の売買に向けて動いている案件があるなかで、多数の引き合いがある。また、海外向け輸出案件の相談もあり、広域的に市場拡大を感じている。
		食料品製造業（総務）	受注量や販売量の動き	・実際の数字として良くなっている。また、前年同期比でも増加している。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共、民間工事は、前年比でやや増の状況が続いている。
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注価格が余り変わらない。
		x	-	-
雇用 関連 (沖縄)		-	-	-
		学校【専門学校】（就職担当）	周辺企業の様子	・ほとんどの業界で人材不足が叫ばれているが、特にネット通販等を扱うBPO企業は多忙を極めており、求人が増えている。
		人材派遣会社（総務担当）	求人数の動き	・求人数は引き続き多く、景気が良い状態が続いている。
		職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・賃金の上昇は一定程度あるが、正社員としての採用枠が依然として増加傾向にない。
		x	求人情報誌制作会社（編集室）	求人数の動き